

<Ecrea のカレンダーと Google カレンダーを連携するための準備>

Ecrea と Google カレンダーを連携させるためには Google にて作業が必要です。

この作業は Ecrea のシステム管理者 1 名が実施する事で、社内の他 Ecrea ユーザーも自身の Google カレンダーと連携が行えるようになります。

◆最初の作業

1.google chrome ブラウザを起動し、下記の URL に接続します。

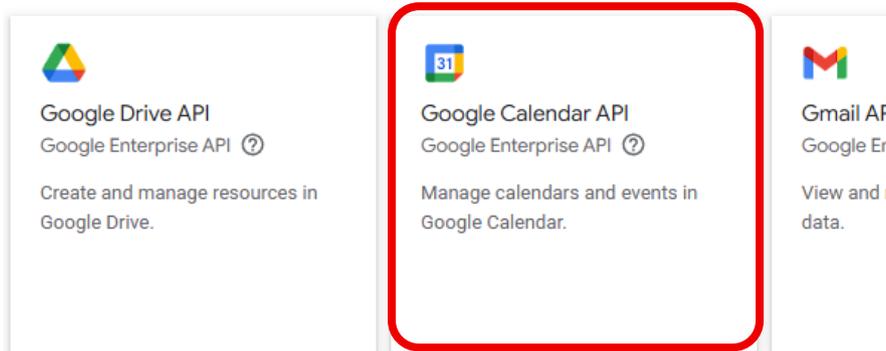
<https://console.cloud.google.com/home>

2.【API とサービス】→【ライブラリ】の順にクリックします。



3.【Google Workspace】内の【Google Calendar API】をクリックします。

Google Workspace



3.【有効にする】をクリックします。



- 4.切り替わった画面内で【 認証情報 】→【 サービスアカウントを管理 】の順にクリックします。
※ここでプロジェクトを作成していない場合「My First Project」が自動で作成されます。

Google Calendar API

The Google Calendar API lets you manage your calendars and events.

所有者: Google Enterprise API

サービス名	種類	ステータス	ドキュメント
calendar- json.googleapis.com	公開 API	有効	Overview Quickstarts API reference

指標 割り当てとシステム上限 **認証情報**

[+ 認証情報を作成](#) [削除](#)

この API と互換性のある認証情報

すべての認証情報を表示するには、[API とサービスの認証情報](#)にアクセスしてください。

必ず、アプリケーションに関する情報を使用して OAuth 同意画面を構成してください。 [同意画面を構成](#)

OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/> 名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
表示する OAuth クライアントがありません				

サービス アカウント

[サービスアカウントを管理](#)

<input type="checkbox"/> メール	名前 ↑	操作
表示するサービス アカウントがありません		

- 5.【 サービスアカウントを作成 】をクリックします。

サービス アカウント **+ サービスアカウントを作成** [削除](#) [アクセスを管理](#) [更新](#)

プロジェクト「My First Project」のサービス アカウント

サービス アカウントは Google Cloud サービス ID (Compute Engine VM、App Engine アプリ、Google 以外で実行されているサービス) を表します。 [サービスアカウントの詳細をご覧ください。](#)

組織のポリシーを使用してサービス アカウントを保護できます。IAM ロールの自動付与、鍵の作成やアップロード、サービス アカウント機能のブロックすることが可能です。 [サービスアカウントの組織のポリシーの詳細をご覧ください。](#)

≡ フィルタ プロパティ名または値を入力

<input type="checkbox"/> メール	ステータス	名前 ↑	説明	キー ID	キーの作成日	OAuth 2 クライ
表示する行がありません						

6.①サービスアカウントの作成にて、アカウント名などを入力し、【 作成して続行 】をクリックします。

1 サービス アカウントの作成

サービスアカウント名
Ecreaカレンダー連携

このサービスアカウントの表示名

サービスアカウント ID *
ecrea-762

メールアドレス: ecrea-762@aqueous-walker-486504-f6.iam.gserviceaccount.com

サービス アカウントの説明

サービス アカウント名:
⇒Ecrea カレンダー連携

サービスアカウント ID:
⇒自動生成されたもので問題ありません。

サービスアカウントの説明:
⇒空欄で問題ありません。

作成して続行

2 権限 (省略可)

3 アクセス権を持つプリンシパル (省略可)

完了 キャンセル

7.②権限(省略可)にて、【 続行 】をクリックします。

※指定のロールがあれば設定してください。

2 権限 (省略可)

このサービス アカウントに My First Project へのアクセス権を付与して、プロジェクト内のリソースに対する特定のアクションを完了する権限を付与します。 [詳細](#)

ロールを選択

IAM の条件 (省略可) ?

+ IAM の条件を追加

+ 別のロールを追加

続行

8.③アクセス権を持つプリンシパルにて、【 完了 】をクリックします。

※指定のロールがあれば設定してください。

3 アクセス権を持つプリンシパル (省略可)

Grant access to users or groups that need to perform actions as this service account. [Learn more](#)

サービス アカウント ユーザーロール

このサービス アカウントを使用してジョブと VM をデプロイする権限をユーザーに付与します

サービス アカウント管理者ロール

このサービス アカウントを管理する権限をユーザーに付与します。

完了 キャンセル

9. 作成したサービスアカウント名 (サービスアカウント ID@xxxxxxxxxx.iam.gserviceaccount.com) をクリックし詳細画面を開きます。

サービス アカウント + サービスアカウントを作成 削除 アクセスを管理 更新 ガイド

プロジェクト「My First Project」のサービス アカウント

サービス アカウントは Google Cloud サービス ID (Compute Engine VM、App Engine アプリ、Google 以外で実行されているシステムなどで実行されているコード) を表します。 [サービスアカウントの詳細をご覧ください。](#)

組織のポリシーを使用してサービス アカウントを保護できます。IAM ロールの自動付与、鍵の作成やアップロード、サービス アカウントの完全な作成など、リスクのあるサービス アカウント機能をブロックすることが可能です。 [サービスアカウントの組織のポリシーの詳細をご覧ください。](#)

フィルタ プロパティ名または値を入力

メール	ステータス	名前 ↑	説明	キー ID	キーの作成日	OAuth 2 クライアント ID	操作
ecrea-762@aqueous-walker-486504-f6.iam.gserviceaccount.com	有効	Ecreaカレンダー連携		キーがありません		103299870950922880508	

10.【 鍵 】をクリックします。

← Ecreaカレンダー連携

詳細 権限 **鍵** 指標 ログ アクセス権を持つプリンシパル

サービス アカウントの詳細

名前 Ecreaカレンダー連携

11.【 キーを追加 】→【 新しい鍵を作成 】の順にクリックします。

← Ecreaカレンダー連携

詳細 権限 **鍵** 指標 ログ アクセス権を持つプリンシパル

鍵

サービスアカウントキーは、不正使用されるとセキュリティ上のリスクになる可能性があります。サービスは、代わりに [Workload Identity 連携](#) を使用することをおすすめします。Google Cloud でサービスについては、[こちら](#)をご覧ください。

Google は公開リポジトリで検出されたサービス アカウント キーを自動的に無効にします。組織のポリシー「iam.serviceAccountKeyExposureResponse」を使用してこの動作をカスタマイズできます。 [詳細](#)

新しい鍵ペアを追加するか、既存の鍵ペアから公開鍵証明書をアップロードしてください。

[組織のポリシー](#) を使用して、サービス アカウント キーの作成をブロックします。
[サービス アカウント用の組織のポリシーの設定の詳細](#)

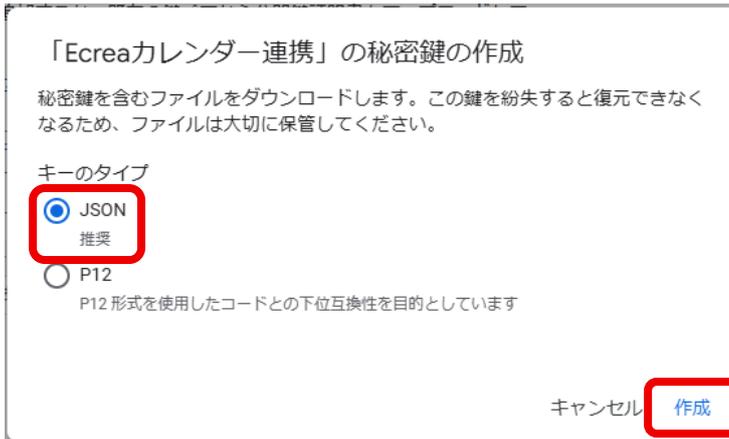
キーを追加 ▾

新しい鍵を作成

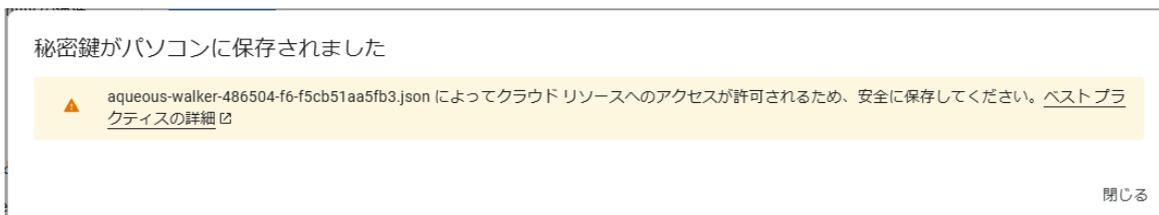
既存の鍵をアップロード

作成日 有効期限

12.『キーのタイプ』にて JSON が選択されている事を確認して、【 作成 】をクリックします。



13.秘密鍵がパソコンへ保存された旨のメッセージが表示されます。



14.保存された場所がわからない場合、google chrome ブラウザ右上のダウンロードマークをクリックするとファイルを確認する事が出来ます。

ダウンロードしたファイルはわかりやすい場所に移動してください。



◆Ecrea での作業

1.システム管理権限を持つ社員で Ecrea にログインします。

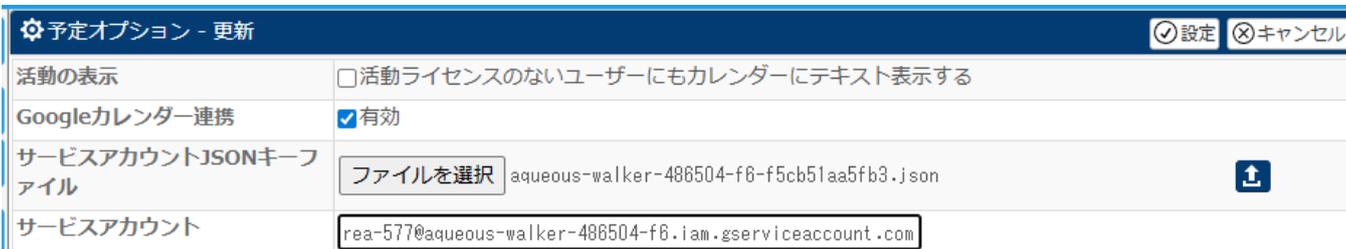
2.【システム管理】→【予定設定】→【予定オプション】の順にクリックします。



3.【編集】をクリックします。



4.各種設定し、【設定】をクリックします。



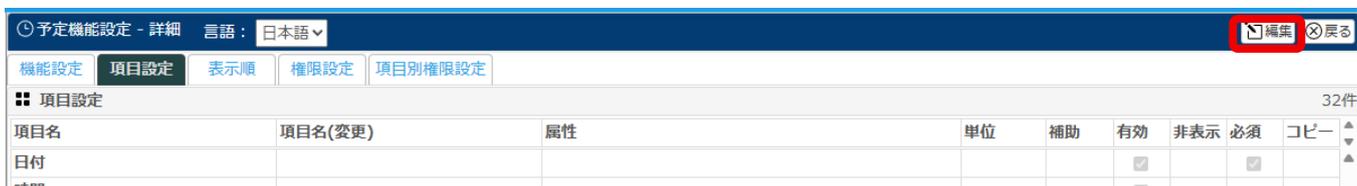
活動の表示	活動ライセンスを保有していない社員の Google カレンダーにテキストを表示させる場合チェックを入れます。
Google カレンダー連携	Google カレンダー連携を行う場合チェックを入れます。
サービスアカウント JSON キーファイル	前ページの 13 でダウンロードした JSON ファイルを選択します。
サービスアカウント	前章の 5~8 で作成したサービスアカウントを入力します。

◆Ecrea の予定設定

1.【システム管理】→【予定機能設定】→【項目設定タブ】の順にクリックします。



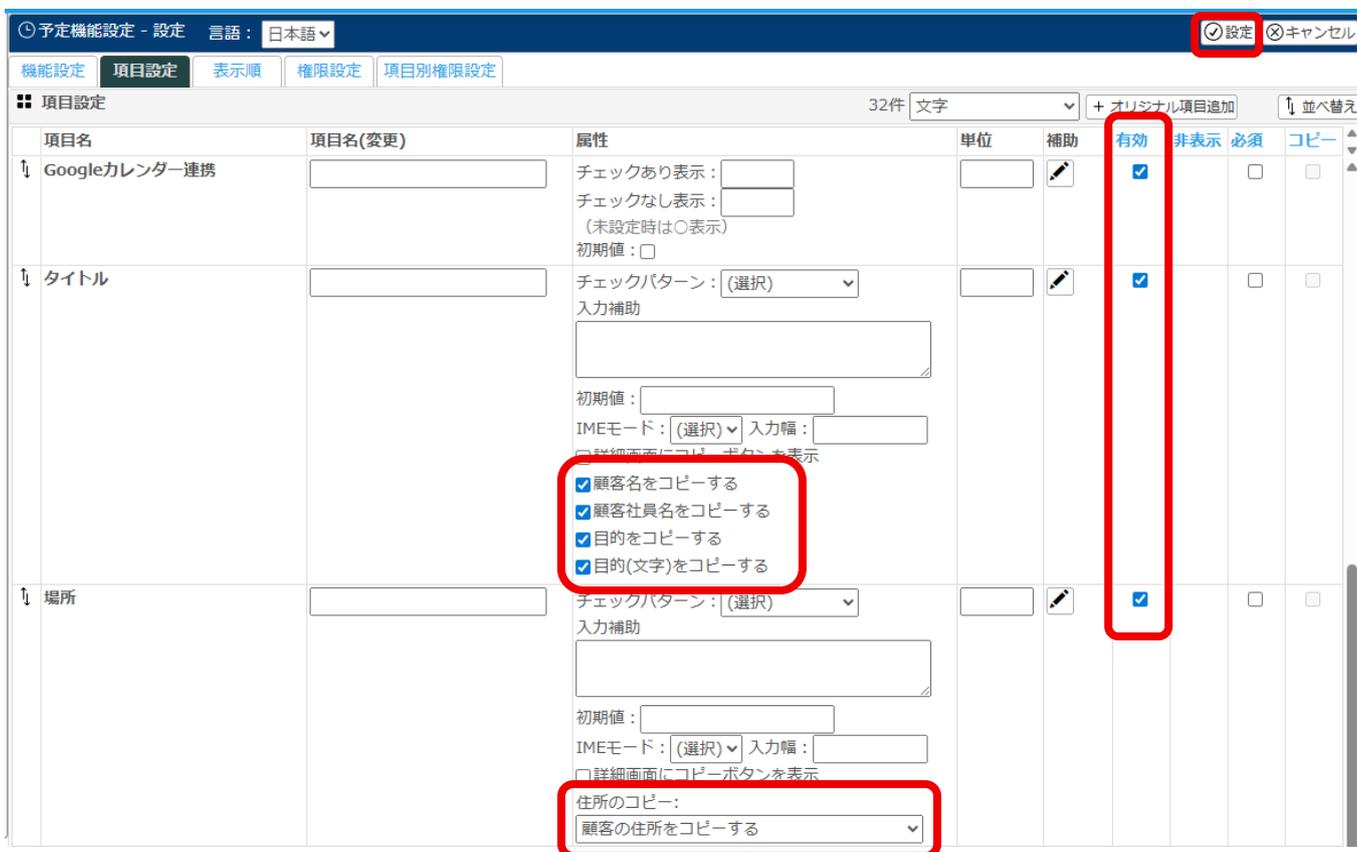
2.【編集】をクリックします。



3.『Google カレンダー連携』、『タイトル』、『場所』が有効になっている事を確認してください。

タイトルの属性にある赤枠の箇所にチェックを入れると、選択した顧客や目的が自動でコピーされ、Google カレンダーへも情報が転送されます。

場所の属性にある赤枠の箇所で顧客や顧客社員の住所をコピーするを選択すると、Google カレンダーへも情報が転送されます。



4.有効を確認して、【設定】をクリックします。

以上の手順で、Ecrea と Google カレンダーを連携する準備が整いました。

次に、実際に連携するユーザーの設定を行います。